

2024年9月 教会行事予定表		
曜	午前	午後
1日	ミサ 9:30 (典礼:白鳥) 運営委員会	
2月		
3火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
4水	こっとな倶楽部 10:00	キリスト教講座① 18:30
5木		
6金		
7土	掃除:蘭岳地区	
8日	集会祭儀 9:30 (典礼:楽山) 例会日	
9月		
10火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
11水	こっとな倶楽部 10:00	キリスト教講座① 18:30
12木		
13金		
14土	ミサ 10:00 キリスト教講座②ミサ後	
15日	ミサ 9:30 (典礼:蘭岳)	
16月		
17火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
18水	こっとな倶楽部 10:00	キリスト教講座① 18:30
19木		
20金		
21土	ミサ 10:00 バザー準備	
22日	集会祭儀 9:30 (典礼:太平洋) バザー10:30	
23月		
24火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
25水	こっとな倶楽部 10:00	キリスト教講座① 18:30
26木		
27金		
28土	ミサ 10:00 キリスト教講座②ミサ後掃除:蘭岳地区	
29日	集会祭儀 9:30 (典礼:楽山)	
30月		

教会は
何が
できるか

8月の主日	
15日	ミサ18:00
18日	ミサ
25日	集会祭儀
8月の土曜	
24日	ミサ
9月の主日	
1日	ミサ
8日	集会祭儀
15日	ミサ
22日	集会祭儀
29日	集会祭儀
9月の土曜	
14日	ミサ
28日	ミサ

カになれたらいいね
きょうかいの

バザー 2024

2024.9.22 AM10:30~PM2:00



バザーによる益金は全額、災害や社会的に弱い立場にある方々に届けられます。

カトリック東室蘭教会 電話44-3851

2024 8/11 ひとつになろう

カトリック東室蘭教会広報誌 毎月第2日曜発行

カトリック東室蘭教会
CATHOLIC HIGASHIMURORAN CHURCH
〒050-0073 室蘭市宮の森町4-9-7
☎0143-44-3851

教会(堂)の資金を考える

教区番頭としての声

教区事務局長 松村繁彦

●頂いた教会堂

日本の教会(堂)の多くは、海外からの宣教師や修道士のおかげで建てられました。それぞれの国(特に西ヨーロッパ諸国やアメリカ等)の信者(恩人)による献金を持ってきてくれたおかげです。私たちはその恩恵を受けてきました。しかし、昨今の日本の教会(堂)は、次々に統廃合・廃止が各地で始まっています。なぜならば新築する力が日本の教会にはないからです。このように日本の教会の動きは、最初の時から頂き物で活動する教会となり、また外から頂くことが当たり前となって歩んできた歴史を持ちます。

●積み立ての必要性

本来建物を建てた場合には、減価償却積立をし、建物耐用年数が来た時に、再度新たに建てることのできるように資金を積み立てるのです。しかし、日本の教会は海外支援により頂いた建物を評価するなど考えもせず、また当時は新しく建て直すなど、考えも及びませんでした。そして現聖堂の価値基準を定め、積み立てるようなことはしてきませんでした。

それは頼めばどうかから献金という手を差し延べてくれるという信仰だったのかもしれない。だから新築の聖堂に向けて積み立てることをしている教会はほとんどありません。現在各教会では、わずかながら積み立てたとしても土地や建物の価値、物価の高騰で同等のものは建てられない状況は明らかです。少しでも延命を図るために修繕積立をしている教会が多いと思いますが、それは手直しをするだけにとどまり建物が朽ちた時に新築する体力は残されていません。

●だれが支えるのか

教区はすべての教会のための積み立てをしていないのかというお叱りを受ける事もありますが、教区がそれを行うならば、各教会の分担金をあげるしかありません。本来は各小教区が積み上げるべきものですが、どちらにしても早くからその実力はなく、修繕費を積み立てる事すらままならない状態です。結論から言えば、各教会は延命の道しか残されていません。屋根・外壁・暖房・下水道等々、建物(躯体)がボロボロにならないように周りを直して長生きしてもらおうというのが関の山。躯体がボロボロになった時には、もう手の施しようが無くなります。その時にはどこからか莫大な支援金をいただくか、





教会をたたむときです。これは計画できない事柄となります。

実際解体費用すら捻出できないので、壊すこともできないまま負債となる教会が続出していきます。建物が治せなくなる時がその教会が終わるときです。誰も支えられません。

●今できる事

建物を長く持たせるために、①しっかりと修繕していくこと。そのために修繕積立をすること。

②新たな建て直しを求めるならば、早くから積立を行う事。今あるものを大切に、経費を抑えながら新築献金を伸ばすこと。これに他なりません。

それも叶わない場合は、残念ながら教会は危険な建物となる前に廃止を決断する必要があります。共同体は近隣の教会と一緒に生きていきます。しかしその教会も長くは続かないでしょう。

●教会のおきて「献金」

教会はすべての人の献金によって成り立っています。どこからか(海外)頂くものではなく、自分たちで存続させなければなりません。その為にはすべての人に「献金」をお願いしなければなりません。誰かの代わりに「献金」するのではなく、自分の教会の為、自分の信仰を守るために「献金」をします。昨今「教会でお金の話をするなんて」という声も聞こえますが、初代教

会の時代から弟子たちを取り巻くキリスト教信望者によるこの「献金」によって発展してきたこ

とを忘れてはいけません。だから「おきて」に組み込まれたのです。教会を生きることは教会を支えるのです。それは各個人の役目です。

●教会を閉じる事

教会を閉じることは恥ではありません。信仰を生きるために共同体を守り、集まること。その場所は今いる場所とは限りません。自分の利便性、過去の栄光や思い出といったノスタルジーで教会をとらえてきた歴史が、日本の教会の動きにストップをかけています。信徒”籍”といった所属意識は他の国に比べて強いのは、日本独自の発想です。外国ではそのようなシステムはありません。ミサ献金、一般献金しかありません。その代わり国税で宗教税がある国が多くあります。その助けによるところが強いかもしれませんが、しかし、昨今宗教税に対して否定的な人々も増え、教会資金そのものが目減りし、外国でも教会を閉じるところが増えてきています。そのことを考えると、私達も他人ごとではありません。改めて見直し、覚悟する必要性が出てきました。

●教会の経費の削減

不便なく教会で活動できることは嬉しいことですが、それは時には自ら首を絞めている行為となります。今一度小さなものに目を止め、なげなしの献金を大切に、そして後世に引き継いでいかなければならないことを思い起こしましょう。そもそも、今の教会はわたしたちの先代から引き継いできたものであるし、その前は外国の恩人からいただいたものだからです。少しでも長く、今の建物が維持継続できるうちに次の事を考え、何を手放し、何を残すかの取捨選択が必要であろうと感じられます。

- 結論 ・新築積立金を持たない教会は、その建物が安全であるかぎり可能だが、修繕積立金を貯え、延命を行う。
- ・建て直す資金がある場合には近隣の教会共同体を引き受け共に歩むことを模索する。
- ・教会運営経費を、できる限り絞り、積み立てに回すよう努力する。
- ・献金を強く呼びかけていく。



2024年度 第4回運営委員会 議事録 2024年8月4日(日) 0:55~12:15

議事録1. は、開催日時は表題のとおりです。議事録3. は出席者名で省略します。

3. 報告:

3.1, 8月.9月の予定

8月

4日(日) 年間第十八主日 ミサ(典礼当番 楽山)
運営委員会

11日(日) 年間第十九主日 ミサ(典礼当番 蘭岳)
例会日

15日(木) 聖母の被昇天(祭) ミサ 18:00

18日(日) 年間第二十主日 ミサ(典礼当番 太平洋)

25日(日) 年間第二十一主日 集会祭儀
(白鳥地区 典礼当番) ミニ大掃除

9月

1日(日) 年間第二十二主日 ミサ
(白鳥地区 典礼当番) 運営委員会

8日(日) 年間第二十三主日 集会祭儀
(楽山地区 典礼当番) 例会日

15日(日) 年間第二十四主日 ミサ
(蘭岳地区 典礼当番)

22日(日) 年間第二十五主日 集会祭儀
(太平洋地区 典礼当番) ミニ大掃除

29日(日) 年間第二十六主日 集会祭儀
(楽山地区 典礼当番)

※毎週の行事(変更の場合あり)

- ・火曜日午前10時~ OPC(パソコン教室)
- ・水曜日午前10時~ こっこん倶楽部
- ・水曜日午後6時30分~ キリスト教講座
- ・第二及び第四土曜日ミサ午前10時~ ミサ後、キリスト教講座

3.2 財務報告

4ヶ月間の収支報告あり

4. 議事:

4.1 教会バザーの確認について

- ・日時: 9月22日(日) 10:30~
- ・テントの確認は、8月25日、ミニ大掃除の時に行う。
- ・各部署の責任者等は女性部の例会で決定して

いるとのこと。

- ・食堂は無いので、ホールで喫茶をすることとした。外にも何か飲み物を置きたい
- ・各部署の責任者は、開会時間を順守して下さい
- ・焼き鳥は、出来合いの串を肉屋さんに800本注文する。販売価格は別途検討
- ・ビールは樽生ビールと缶ビール(ノンアルコールも)用意
- ・海星学院の生徒による販売も実施
- ・海星学院生徒の昼食はこちらで用意する

4.2 室蘭教会との合同墓参について

- ・8月11日(日) 望洋台霊園 14:00 望洋台共同墓集會
- ・当教会は生花2個用意 室蘭教会は祈りの葉と焼香一式

4.3 野外パーティーについて 改めて考慮する

4.4 その他

- ・泣き部屋のカーテンレール取付は、業者に依頼中
- ・カーテンは既存のものを使用する希望が多いので既存のものが使えるようなカーテンレールを取り付けることを希望した。
- ・札幌教区のシノドスの集い 10/14 札幌教区カトリックセンター 9/30-16:00 予定 山田淳氏に出席を依頼した。
- ・消火器 6本新替えした。総額4万円弱(38,918円)
- ・火災報知器を4台用意することとした(担当:松岡さん)
- ・掃除当番は、8月 楽山 9月 蘭岳

5. ミサ・集会祭儀の予定:

- 8/4 ライヤ師 8/11 小林師
- 8/18 ライヤ師 8/25 集会
- 9/1 ライヤ師 9/8 集会
- 9/15 ライヤ師 9/22 集会 9/29 集会